



縫製業・ファッションアパレル

株式会社 シック関口 せきぐち

さらなる発展を目指して 他ではできない「モノ」づくりを

創業から33年
木材一色の町に縫製業を

現・代表取締役の関口正之さんは、昭和43年、県の誘致企業である秋田末広繊維工業株式会社の五城目工場設立のため、初代工場長として東京都から五城目町へ赴任され、製材業の工場しか見当たらなかった町に、縫製業という新分野の工場を稼働させました。その後独立され、昭和54年に会社の前身となる「関口縫製」を設立。昭和57年に社名を変更、平成4年には現在の工場を新設され、現在まで33年間 にわたり、有名メーカーデザイナーの高級婦人服を製造されています。

工場内ではグループに分かれて作業が進む



製造されている商品は、主に全国の百貨店や専門店などで販売される高級婦人服です。有名メーカーからの発注・デザインをもとに、型紙づくりから細部の装飾まで、完成までの全ての工程を行っています。

ミシンを使っての業務をこなすには、最低でも1年、服を一人で仕上げするには3年ぐらいの経験が必要とのこと。さらに、その都度新デザインや新素材に対応していくため、長年培った技術力と経験をベテランから若い世代へ伝えるべく、社内の新陳代謝を図りながら、流行の最先端を目指す製品づくりを進められています。

有名メーカーからの発注・デザインに対応



企業概要

- 所在地
字羽黒前101-1
- 電話番号
018・852・2701 (代表)
- 創業
昭和54年 (1979年)
- 従業員数
42人
- 事業内容
縫製業 (ニット婦人服)
- 事業規模
年間売上 約1億5千万円



全国の百貨店・専門店 で販売される 高級婦人服を扱う 技術力と経験が 会社の財産です



代表取締役 関口 正之さん



(上)CAD(コンピュータを使った製図システム)とつながっている裁断機
(下)特殊な縫い方ができるミシンで、細部にもこだわりを

ものづくり用語解説

「カットソー」とは？

カット＆ソー (Cut&Sewn) の略で、成型せずに編まれたニット素材を、裁断・縫製して製造される衣服の総称。伸び縮みする素材であることが特徴で、Tシャツ・ポロシャツ・トレーナーなども含まれる。

企業立地を応援します！

町では、町内に事業所を新設・増設する企業に、下記の奨励措置を行います。

- ①固定資産税の課税免除 (3年間)
- ②用地取得助成金交付 (最大1,000万円)
- ③雇用奨励金の交付 (1人5万円/月の2年間、最大500万円)
- ④福利厚生施設等助成金 (最大500万円)

※用地取得面積や雇用者数などの要件があります。

※今回は、「エート電機(株)」をご紹介します予定です。

最先端を目指すモノづくりを 次代へとつなぐ

現在の服の販売状況は、首都圏でも数量・単価とも、ここ10年間で2〜3割ほど減っているそうです。人口減少や災害による衣服費の節約などのほか、安価な外国製品の登場も大きく影響しているとのこと。しかし、素材・技術の質を求めるニーズも根強く、国内産にこだわりながら、外国製品との差別化を図っていききたいと、関口代表取締役は話していました。

また、会社で創業以来こだわり続けてきたのは、「カットソー(※注)」という服の分野。現在は定着しつつありますが、30年以上前はまったく新しい分野へのチャレンジだったとのこと。現在は、長男の博幸さんが工場長



代表取締役の正之さん(⊕)と
工場長の博幸さん(⊕)、営業課長の和人さん(⊕)

を、次男の和人さんが営業課長を務め、創業以来のこだわりを継承。長年の技術力と経験を新しい力に引き継ぎながら、変わらぬモノづくりを進めていきたいと話していました。